

# 中村恵理 *Eri Nakamura* SPECIAL INTERVIEW

「一回観て欲しい、百回観て面白い。それが『フィガロの結婚』です。」



今回、「フィガロの結婚」でスザンナ役を演じる中村恵理さん。昨年11月にウィーン国立歌劇場デビューを果たすなど、今、世界が注目する逸材です。中村さんは、兵庫県川西市出身。まさに、関西から世界に羽ばたいた中村さんに、音楽を志したきっかけから海外でのご活躍まで、お話を伺いました。

## 最初は吹奏楽少女

トロンボーンを吹いていたそうですね。

中学時代は吹奏楽部で、当時、西宮北口にあった西宮球場で行われていた「3000人の吹奏楽」に3年間出ていました！音楽の先生になつて吹奏楽部の顧問になるのがその頃の夢でした。

## なぜ歌を志すことになったか？

高校2年生の冬に、阪神・淡路大震災がありました。私のところは、家が全壊するなどの被害はなかったのですが、電気も止まり、毛布にくるまって震えていたのを覚えています。もちろん、ピアノの練習などできる環境ではなく、音大に進学する夢も一度は諦めました。毎日、今日のお風呂をどうするか？というのが一番の話題でしたから。そんな時、高校の先生が、近隣の皆さんを励ましたいと学校で第九のコンサートを企画したんです。そこで歌ってみたら、「高い声でやるん！」と。すぐに声楽の先生を紹介されて、大阪音楽大学の声楽科を受けることになりました。

## 大学院終了後に、

## 国立劇場の研修所へ進みます。

大学でオペラの魅力にはまり、歌を続けたらと思つたものの父親は大反対でした。音楽の先生になる、という約束でしたから。悩んでいる時に、大学の先輩の晴彦さんが国立劇場オペラ研修所のパンフレットを持って

きてくれたんです。奨学金をもらいながら勉強できるよと。でも、まだ大阪音大から合格した人はいなくて「これで落ちたら諦めよう」と。結果は合格。晴さんにはとても感謝しています。

## 人生を変えた、

## ネトレプコの代役

研修所修了後は拠点を海外に移されます。2008年に英国ロイヤル・オペラ・ハウス（若手歌手育成コースに合格。翌年、ネトレプコの代役で主役デビューを果たし、大きな話題になりました。

まさに、私の人生を変えた日です。「カプレーティ家とモンテッキ家」のジュリエッタでした。代役の話が来たのは前日で、その夜は二睡もできませんでした。でも、引き受けたからにはやり遂げようと。何より、劇場が私を信用してくれたことが嬉しかった。

ジュリエッタは、最初ヴェールで顔を隠して登場するんです。ヴェールをあげると、2000人、4000人の目がめつた刺し（！）。今思い出しただけでも身震いします。緊張しましたが、共演者、劇場スタッフにとっても助けられました。ロメオ役のエリーナ・ガランチャが、何度も「大丈夫だよ」って声をかけてくれて。

カーテンコールで、私が出た瞬間に客席が「うわあつて湧いたんです。まさかそうなるとは思わなくて…今思い出しても、人生最高のカーテンコールですね。」

この年、英国・カーディフ国際音楽コンクールでファイナルに残ります。

日本ではあまり知られていませんが、このコンクールはオペラ界の注目度がとても高い。ファイナルに残つてすぐに、バイエルン国立歌劇場からオーディションのオファーがあり、また所属事務所もすぐに決まりました。

## その後、バイエルン国立歌劇場へ。欧州の一流歌劇場の専属、

## どういった生活でしたか？

6年間ほぼ毎日通いましたから、もう家のような感覚です。ドイツの歌劇場は稽古期間が短い。月曜に稽古を始めて、日曜には初日。ハードでしたが、6年間一度も舞台をキャンセルしませんでした。

## 次期ベルリン・フィルの首席指揮者就任が決まっているキリル・ペトレンコ氏との仕事はいかがでしたか？

ペトレンコの指揮では、「影のない女」「ボリス・ゴドゥノフ」「ナクソス島のアリアドネ」などに出演しました。彼は自分のやりたいことがはっきりしていて、歌手への要求も高い。でも、本番にこんなに安心できる指揮者はない。こちらが不安に思っている時は必ず一瞥くられて、上手くいくとオペラの中からグーサインが出るんですよ（！）。

## キャリアの節目に、

## 「フィガロの結婚」があった。

## バイエルン国立歌劇場のデビューも

## 「フィガロの結婚」スザンナ役でした。

振りかえると、私のキャリアの節目に必ず「フィガロの結婚」がありました。初めて1本のオペラに取り組んだのが大学院の時、「フィガロの結婚」の伯爵夫人役でした。そして、国立研修所在籍時に、バルバリーナ役で国立劇場にデビュー。ロイヤル・オペラでも、お亡くなりになる前のサー・コリン・デイヴィスの指揮でスザンナを歌いました。彼が「君が僕の最後のスザンナだね」とおっしゃった言葉が忘れられません。そして、バイエルン国立歌劇場のデビュー。思い出がたくさんある、とても大切な作品です。

「フィガロの結婚」、そしてスザンナの魅力はなんでしょう。

フィガロの結婚が初演されたのは2000年以上昔ですが、登場人物は、現代でも「こんな人いるいる」という人ばかり。スザンナからみると、伯爵のやっていることは、セクハラだしパワハラですよ。伯爵夫人も上司だから、めっちゃめっちゃ怒ります。そこを持ち前の機転でぐり抜けていく。まさに「あるある」な人間ドラマなんです。

スザンナを演じて思うのは、彼女は常に巻き込まれる役、ということ。スザンナの受け方ひとつで、見え方が変わってくる。例えば、1幕で伯爵の下心をフィガロに伝える場面。今まで言い出せず悪かったと思つて言うか、悪びれずに言うかで、全く違うドラマになるんです。だから何度演じても新しい発見がある。面白い。「フィガロ」は必ず1回は観て欲しい、そして100回観ても面白いオペラだと思います。

## KOBELCO大ホールに登場するのは、

## 2007年のワン・コイン・コンサート

## 以来です。

10年ぶりに来て思いましたが、ホールがまだまだフレッシュ。とてもいい歳の取り方をしていますね。ワンコイン・コンサートで一番覚えているのが、「リゴレット」の aria。麗しき人の名は。午前中、11時台のコンサートなのに無謀にもこの曲を入れて、リハーサルでは一番高い音が出なかった。でも本番では出たんです。ホールに助けられた、と思えました。今回、また地元・兵庫の舞台でスザンナを歌わせていただくことになり、とても感慨深く思います。本番では、フィガロと無事結婚できるように、全力で走り抜けたと思います！



2007年ワンコイン・コンサートより

中村さんのスザンナが本当に楽しみです。ありがとうございます。

佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2017 [音楽] ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト [台本] ロレンツォ・ダ・ポンテ [原作] カロン・ド・ボーマルシェ [指揮] 佐渡裕 [演出] デヴィッド・ニース

# フィガロの結婚

7/14(金) 15(土) 16(日) 17(月・祝) 19(水) 21(金) 22(土) 23(日) 各日2:00PM ★中村恵理さん出演日  
兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール A 12,000円 B 9,000円 C 7,000円 D 5,000円 E 3,000円 [消費税込・全席指定]

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 10:00AM~5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日 主催/兵庫県、兵庫県立芸術文化センター(制作)

姫路公演 7/26(水) 6:00PM 姫路市文化センター大ホール 一般 9,000円 A 7,000円 B 5,000円 ※高校生以下半額 079-298-8015 篠山公演 7/29(土) 2:00PM 篠山市立たんば田園交響ホール 一般 8,000円 高校生以下 3,000円 079-552-3600

「セビリヤの理髪師」から○年後のお話です。

2013年佐渡オペラで上演した「セビリヤの理髪師」。青年貴族のアルマヴィーヴァ伯爵が、箱入り娘のロジーナに一目ぼれ。ロジーナの後見人、医師のバルトロに妨害されながらも、町の理髪師・フィガロの機転でめでたくゴールイン!というお話でした。



実は、「フィガロの結婚」はその後日譚になります。舞台は、伯爵と伯爵夫人となったロジーナの暮らすお屋敷。フリーの理髪師だったフィガロは、その才覚を買われて伯爵家の召使いになっています。ところが、あんなにラブラブだった伯爵夫妻は完全な倦怠期!なんと伯爵はフィガロの許嫁・スザンナに手を出そうとしています。さらにバルトロが、フィガロに横恋慕する女中頭のマルチェリーナと組んで結婚を邪魔しにやってきます。さあ、果たしてフィガロは結婚できるのか?怒涛の結婚式の日がはじまります!



私たちがお仕置きよ!2つの作戦の行方は?

ところでこのオペラ、タイトルは「フィガロの結婚」なれど、一番出番の多い役は、スザンナ。1幕のフィガロとの二重唱から、フィナーレまでまさに出ずっぱり。オペラ中最高音を歌うのもスザンナです。

それじゃあスザンナが主人公?いえいえ、そう一筋縄ではいかないのが「フィガロの結婚」の面白さ。夫の浮気を嘆く伯爵夫人は、ただか弱だけの女性ではありません。フィガロ&スザンナと組んで伯爵の浮気現場を押さえるため作戦を決定!最初の作戦は伯爵に感づかれて失敗しますが、めげずに今度はスザンナと二人、第二の作戦を考えます。なんとそれは、スザンナが伯爵を誘い、現場にはスザンナに変装した伯爵夫人が行く!という大胆なもの。

果たして女たちの作戦は成功するのでしょうか!?

知ればもっと面白い!  
**フィガロの結婚**  
攻略マニキュアール

モーツァルトのオペラの中でも、1、2を争う人気作の「フィガロの結婚」でも、人間関係がちよっぴり入り組んでいる上に、展開が早い!もちろん、ひたすら美しい音楽に身を委ねるも良しですが、物語の背景と構図を頭に入れておけば、倍楽しめること間違いなし。  
キャラクター別聴きどころもチェック!

キャラ別聴きどころチェック!

実に個性豊かな「フィガロの結婚」の登場人物たち。モーツァルトがそれぞれにぴったりの音楽をつけていて、一瞬たりとも飽きさせません。もちろん、伯爵に立ち向かうフィガロには見せ場たっぷり。そして、脇役なのに時に一番人気を凌ぐのが、伯爵夫人を慕う美少年・ケルビーノ。さあ、今回の「フィガロの結婚」では誰が人気を集めるのでしょうか?

★★★★超・人気曲 ★★名曲

フィガロ 策略をめぐらすキレ者

「伯爵様、踊りをなさりたいけれど」(1幕)★★  
伯爵の下心に怒り心頭! 対抗心をメラメラ  
「もう飛ぶまいぞ、この蝶々」(1幕)★★★★  
伯爵の怒りに触れて軍隊入りを命じられたケルビーノをからかう、フィガロらしさ全開の豪快なアリア。



伯爵夫人 夫の浮気、許す?許さない?

「愛の神よ、安らぎをください」(2幕)★★  
失われた愛を嘆く折りの歌。  
「甘さと喜びの美しい時は」(3幕)★★★★  
ここから第二の作戦がはじまる!  
夫の愛を取り戻す決意を歌う、大アリア。



スザンナ セクハラ、パワハラNO!

フィガロの許嫁・伯爵夫人の小間使い  
「早くおいで、すばらしい喜びよ」(4幕)★★★★  
第二の作戦を知らされず、フィガロはスザンナの動きにヤキモキ。そんなフィガロをからかう、甘いアリア。



アルマヴィーヴァ伯爵 困った俺様上司

「私がつめ息をついているというのに」(3幕)★★  
自分に対する不穏な空気を感じ取り、戦闘意欲を燃やす。



ケルビーノ 登場すると必ず一波乱!

伯爵夫人を慕う美少年。  
「自分で自分がわからない」(1幕)★★  
これぞ、思春期の湧き立つ気持ち。  
「恋とはどんなものなのか」(2幕)★★★★  
恋のとまどいを訴える甘美な歌。  
伯爵夫人も思わずうっとり?



こいつが台風の目!

アンサンブルにも注目!

モーツァルトのオペラの醍醐味は、計算され尽くしたアンサンブル。この曲だけは押さえよう!

六重唱「母を認めておくれ」(3幕)★★  
マルチェリーナが実は!?あっと驚く逆転の六重唱。モーツァルト自身、このくだりが一番気に入っていたとか。  
二重唱「そよ風に寄せる」(3幕)★★★★  
通称「手紙の二重唱」。伯爵夫人とスザンナが、伯爵を誘い出す手紙を書きながら歌う優美な歌。

舞台美術・衣裳の準備も着々と進行中!

今回、衣裳はイタリア・ローマの専門の工房に製作を発注。昨年12月にはスタッフが工房を訪れ、衣裳のチェックと小道具の選定を行いました。既に完成しつつある衣裳がこちら!



一方、舞台セットは日本の会社が製作。3月8日に、舞台美術家のロバート・パージョラ氏が芸術文化センターを訪れ、現場のスタッフと一緒に細かい打ち合わせを行いました。本番でどのように組みあがるのか楽しみです!

佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2017

**フィガロの結婚**

全4幕 / イタリア語上演・日本語字幕付き / 新制作  
CAST (ダブルキャスト)

[指揮] 佐渡 裕 [演出] デヴィッド・ニース



兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール 7/14(金) 15(土) 16(日) 17(月・祝) 19(水) 21(金) 22(土) 23(日) 各日2:00PM  
A 12,000円 B 9,000円 C 7,000円 D 5,000円 E 3,000円 [消費税込・全席指定] 予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 [10:00AM~5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日]

姫路公演 7/26(水) 6:00PM 姫路市文化センター大ホール 9S,000円 A7,000円 B5,000円 ※高校生以下半額 079-298-8015 篠山公演 7/29(土) 2:00PM 篠山市立たんば田園交響ホール 一般 8,000円 高校生以下 3,000円 079-552-3600 兵庫 フィガロ 検索 特設サイト公開中! 主催 / 兵庫県、兵庫県立芸術文化センター(制作)